



議会だより

なよろ



2013.7.1 発行

29
No.



晴天に恵まれた6月の日曜日、市内の各小学校の青空に大きな歓声がこだましました



(写真は風連中央小学校の大運動会)

第2回定例会

定例会で決まったこと	2
一般質問に9人	3 ~ 7
各委員会活動報告	8
政務調査報告	9 ~ 10
議員協議会・臨時会	11
議会報告会のご案内	12
議会日誌・可決された意見書	13
きぼう・編集後記	14

南小学校校舎・屋内運動場実施設計に 6800万円を追加

平成25年第2回定例会は、5月31日から6月13日までの14日間開かれました。開会当日は冒頭、故・宗片浩子議員のご逝去を悼み黙とう、追悼の言葉を捧げてからの審議となりました。議案審議では、条例案6件、補正予算案2件、その他6件、報告9件、諮問1件、意見書案3件を審議しました。一般質問では9人の議員が市政について質問しました。

主な条例

名寄市暴力団排除条例

第1回定例会で市民福祉常任委員会に付託されていた案件で、市民生活の安全を確保し、地域社会経済活動の発展を目指して、市民・事業者が一丸となって暴力団を排除するうえでの基本的な考えとして、原案どおり可決しました。名寄市子ども・子育て会議条例の制定について子ども・子育て支援法に基づき、現在検討が進められている新たな子育て支援施策の実施に備えるもの。市民福祉常任委員会に付託し、閉会中の継続審議としました。

計画の見直し

名寄市住宅マスタープラン（見直し）の策定

平成20年度から29年度までの10ヶ年計画で策定しておりますが、社会情勢の変化等に伴い、見直しを進めてきたものです。最終案が整いましたので、議員協議会で説明を受け、最終日に審議・可決しました。

主な補正予算

パークゴルフ場に管理棟 天塩川パークゴルフ場のコース等の管理運営拠点として活用できるプレハブを購入するため150万円を追加しました。

雪害倒壊家屋危険防止緊急工事
この冬の大雪により倒壊した無人家屋の危険防止や粉じんの飛散が緊急課題となり、その防止に72万5千円を追加しました。

青年就農給付金

市内における新規就農者を対象として、北海道青年就農給付金事業を活用して5年間にわたり給付を行うことで825万円を追加しました。

南小学校校舎・屋内運動場実施設計委託料

基本設計が固まったことで、実施に伴う設計委託料6800万円を追加しました。改築工事は平成28年3月の竣工を目指しています。



改築が待たれる南小学校

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦に同意しました。

佐藤 源嗣氏（再任）
名寄市字徳田65番地127
村上 勝浩氏（再任）
名寄市西3条北5丁目14番地2

審議日程

5月31日（金）

- ・開会
- ・行政報告
- ・議案等審議
議員協議会

6月11日（火）

- ・一般質問
議会運営委員会

6月12日（水）

- ・一般質問
議員協議会

6月13日（木）

- ・一般質問
- ・議案等審議
- ・閉会

一般質問



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石 健 二議員

財政規律の制度化を

問 名寄市はかつて赤字再

建団体に転落した過去がある。健全で計画的な財政運営のために財政健全化法に伴う健全化判断比率や経常収支比率などの財政指数等への目標値設定、普通交付税算定替えの対応、人口減少・少子長寿化が住民税の課税ベースに与える影響などを考慮した財政規律の制度化を図るべきではないか。

答 独自の財政規律を作っても他市との比較で、どこに位置するか分かりづらい。今しばらくは国が示している内容を市民に示して情報の共有を図っていききたい。

市街地再活性化への道

問 駅前交流プラザ「よるー

な」オープンに大きく遅れることなく、中心市街地の再活性化へ向けて、課題を抱える周辺商店街と商工会議所等と連携して、経済効果の創出を

図るための施策や構想は。行政の果たすべき役割も重要。

答 4月に商議所など分散していた施設を駅横に集約して、これを基軸に新たなにぎわいを創出していく。同時にソフト面でも民間と一体となつて3・6も含めて活性化への機運を醸成していききたい。

他の質問・課題を抱える町内会他



活性化が待たれる中心市街地



戸惑いを与えない対応を

市民連合・凜風会 佐藤 靖 議員

施策決定と市民周知

問 バス運行業務委託料の

改定通知が新年度に入り行われた。混乱を与えた、と改定は見送られたが、戸惑いを与えたのは事実。今後の対応と市民周知のあり方は。また、6月2日のアスパラまつりの際、よるーな、Qマート、新取得駐車場が利用規制されたイベント時は連携して有効活用が原則ではなかったのか。

答 委託料の改定は、利用団体に混乱をもたらす結果となったが、周知が遅れたことはお詫びする。今後は3ヶ月間ほどの周知期間を確保する。駐車場も結果として来場者に不便をかけたことをお詫びする。今後はしっかりと対応したい。

市病と大学の将来は

問 救命救急センター開設、

看護基準7対1移行課題等がある市立病院と大学検討準備

組織の対応は。

答 医師充足率は207・6%だが、今後も人材確保に努める。7対1導入には、若干看護師が不足しているが、4月採用の新人看護師が夜勤可能となる本年秋頃を目途に導入したい。検討準備組織を5月中に立ち上げる予定だったが、課題整理等で遅れており、近々設置する。また、地域交流センターの組織体制を再構築し、社会貢献の役割も果たしていく。



にきわい創出のため、駅前駐車場の連携も必要

一般質問



将来を見据えた施策を

市民連合・凜風会 植松 正一 議員

市独自の影響額は

問 TPP（環太平洋経済連携協定）に対して農産物の主な影響額と本市として関係団体と連携しての反対行動の実施は。

答 平成23年のホクレンでの試算では米が現状の1割程度、豆類、大豆が4割程度、麦類は3割、馬鈴薯は生食以外は5割、てん菜は壊滅であり、牛乳は飲用以外は2割程度になる。現在80億円の農業生産額が34億円になる試算。市独自の試算については、試算方法、対象品目等様々な要素が必要なことから、単独は厳しい状況で、北海道に働きかけて行く。又、TPPを考える名寄市民の集いを市と道北なよる等で実行委員会を組織し、27日開催とのこと。

遊休地の利活用は

問 緑丘第2団地跡地の利活用で、老健施設の誘致等の考えと今後の考えは。



具体的な事業計画に至っていない跡地

答 当局として介護保険制度のもと、介護老人保健施設やグループホームの福祉関連施設を推進し、道との広域調整もあり、市単独での対応が難しい状況。支援を必要とする受け入れ施設に空きが無いのは承知している。一定の面積を持つ土地の利活用は大きな課題だが、改めて周辺環境も考慮した利用目的などの検討を進め、広くPRの機会を持ちながら対応を進めてまいります。



名寄市立大学について

市政クラブ 東 千春 議員

児童学科の4年制化は

問 名寄市立大学児童学科の4年制化への進捗状況と今後の進め方について。大学図書館のイメージと進捗は。

答 児童学科の4年制化の検討のため設置者と大学による検討準備会議設置の検討を進める。本学の卒業生は総じて評価が高いが、より即戦力となる人材の育成が求められ、指導力、コミュニケーション力や社会に特有の子どもや家庭が抱える課題に対応できる能力等、保育へのニーズに込める人材育成のための調査を行いたい。今後、財政や学科カリキュラムなど4年制化まで最短で2年間の準備期間が必要と考える。大学図書館整備では基本構想、基本計画は策定した。学生への学習支援はもとより関係機関や地域との連携も目指したい。館内に講堂または大教室を検討する。

スポーツイベントは

問 今年初となる、ひまわりリレーランのイメージや有森裕子氏との今後のかかわりは。

答 地域資源のひまわりを活用し、有森氏に走る楽しさを知らせてもらう。有森氏の人的ネットワークからさらなる交流人口を目指したい。

スキーの日はスキーの普及とスキー場の利用拡大を目指しスキー連盟、振興公社、九度山祭りなど民間とも相談し、内容を深めたい。

他の質問・適切な夜間照明は



児童学科の4年制化と大学図書館は。

一般質問



子ども達の未来のために

市政クラブ 山田 典 幸議員

信頼される学校づくり

問 先般、市内小学校勤務の教諭が逮捕される事件が発生したが、児童・保護者への対応と、再発防止に向けての今後の取り組みは。

答 児童の心のケアを最優先に考え、校内カウンセラーによる児童一人ひとりのケアを行い、保護者に対しても説明会の中で家庭における心のケアをお願いした。今後、各学校に対し、服務規律の保持、職員の意識改革が図られるよう指導を徹底し、これまで以上に信頼される学校づくりを推進して行きたい。

農業の担い手への支援策

問 将来の地域農業を支えてゆく若い担い手に対する支援策の現状と評価、今後に向けての対策は。

答 担い手対策、新規就農者の確保は市としても重要な課題と認識している。国や道の事業、市の単独事業も含めて



智恵文小学校の農園活動

概ね効果は上がっているものと考えている。今後の担い手に対する支援策においては、若手農業者等の要望・意見なども含めて効果的な施策になるよう、関係機関・団体と連携しながら検討していきたい。

他の質問

- ・道徳教育の推進について
- ・学校教育における食育の推進について
- ・今年度の重点農業施策について



なよろで育って良かった

公明 高橋 伸 典議員

子ども医療費の助成を

問 子どもの健やかな成長を社会全体で願い、子育てを子どものいる家庭だけでなく、地域で見守り、支え合う医療費の助成を。

答 本市は北海道の医療給付事業補助金交付要綱に準拠し、医療給付助成を実施している。市立総合病院では市民に安心感を与え、特に子育て世代には周産期医療の産婦人科、小児科では救急外来365日24時間体制診療が行われ、保育料10階層細分化と第2・3は半額や無料。幼稚園就園奨励費、遠距離通園・通所費助成事業、ひとり親家庭等医療費給付助成、子育て支援センターの無料化、親子お出かけバスツアー等々の総合的な子育て支援策を推進している。現在の乳幼児医療等・ひとり親等医療費助成で、約5228万の助成で、中学生まで無料化した場合、11年ベースで

6882万の予算が必要となり、現制度の充実を図る。

資材・労務単価上昇の影響

問 は東日本大震災の影響から建設資材や燃料の価格高騰と新労務単価の人材の影響は。

答 本年改正により引き上げられた労務単価を使用し、設計積算を行い工事発注をする。道路整備では、施工延長を減少させる対応。建築工事では大規模の建築工事は工期が長期のため慎重に対応し、現時点では工事に大きく影響する資材高騰はなく、今後の物価動向に慎重に対応していく。



なよろで育ってよかった

一般質問



次世代を担う心の健康

市政クラブ 佐々木 寿 議員

早期発見が早期治療に

問 支援が進まない若年精神患者を救う対策を伺う。

答 若年者の精神疾患の発病しやすいのは人生で最も重要な十代から二〇代の時期。不安や悩みを少しでも解消できるよう、市内3中学校に

「心の教室相談員」の配置や小学校では擁護教員が児童や保護者のケアを行っている。

心の病気のための様々な相談に、市役所窓口、精神障害者相談員、更に、24時間対応可能な名寄みどりの郷、道北センター福祉会で気軽に相談の場を設けている。また、市立病院精神科で「精神科ダイヤ」や医療、福祉制度相談窓口の支援も行っている。これらの取り組みを通し、早期発見・治療に努め、健康な青春生活を送れる支援をしていく。

住みよいまちづくり

問 都市計画、防災、交通、環境、観光の基礎資料が期待

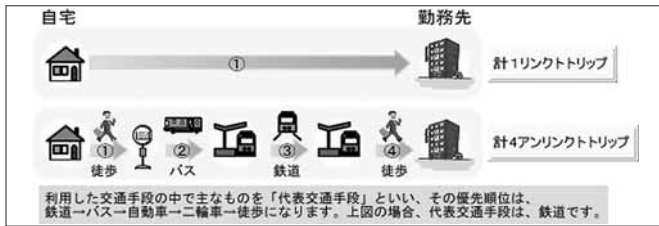
できるパーソントリップ調査

(交通実態調査)の見解を。

答 道内では、札幌、函館、旭川の都市圏で実施しているのが現状。本市としては現段階で実施するに至っていないが、都市計画マスタープランをはじめ各種計画等もあり、実行性、道の動向も踏まえ、今後研究を進めて行く。

他の質問

- ・ 燃料、電気料金値上げの対応
- ・ 不法投棄
- ・ がん対策
- ・ 名寄岩生誕100年について



誤った市長判断

市民連合・凜風会 奥村 英 俊 議員

市民の安全と平和行政推進

問 市民と行政との協働によるまちづくりという観点で、

名寄駐屯地記念行事の市中央装パレードに対し市民の中に反対の声があることを承知しているか。市街地での実施に対する安全担保と目的。平和行政・平和教育の今後について杉並区などの取り組みを参考に考える考えはないか。

答 市道・南広場の使用に関し関係団体との協力で安全は担保されている。記念行事の市中開催要請は自衛隊の活動を地域住民が理解し支えることが目的。平和のためのポスターコンクールなどの取り組みは教育委員会などと協議し検討する。

市民との理解を深める

問 除排雪について24年度

事業を終えて見えた課題と25年度の取組みについて市民と意見交換会を実施する考えは。課題について整理中だ

杉並区の平和のためのポスターコンクールの入賞作品で作成されたカレンダー



が、除排雪の手法と人材確保・水準確保で7月以降に事業者と協議し、要する費用についても検証する。また、市民理解が不可欠で市民意見を聴く機会が不足していた。除排雪方法の総括と事業者と確認した改善点については、ま

とまり次第、町内会連合会のほか市民との意見・要望を聞く機会を設定し、意見を吸収して除排雪事業の改善に着手し、よりよい「名寄の冬の生活」を送る工夫を進めたい。

一般質問



風しんワクチン助成を

日本共産党 川村 幸 栄議員

公契約条例について

問 景気低迷で働く人たちの環境はますます深刻である。賃上げと安定した雇用の拡大で、働く人たちの所得を増やすことが重要。公共事業で働く労働者や公共サービス、委託分野で働く労働者の働く環境と賃金は。また、公共事業設計労務単価が社会保険への加入を促す福利費も計算され大幅な増となったが、周知は

答 過去3年間の落札率は約95%で、下請けや労働者へのしわ寄せのないようにしている。適切な労務費となっているか、積算内訳書の提出を契約企業や下請け企業にも求めている。労務単価の変更は、指導要綱と説明資料を配布。

問 風しん流行への対応は

答 この5年間で最悪のペースで大流行している風しん。患者の8割が男性（その9割が20〜40歳代、女性は20歳代が中心）。免疫のない女

性が妊娠20週ごろまでに感染すると、出生児に先天性風疹

症候群（難聴、心疾患、精神

や身体の発達の遅れなど）を

持つて生まれることがあると

いわれる。北海道内、上川管

内、市内の発症状況とワクチ

ン接種の啓蒙啓発状況、ワク

チン接種の助成の考えは。

答 旭川で3名、上川管内1

名の発症に危機感を持つてい

る。助成は前向きに検討した

い。

他の質問・障害のある人たち

の就労支援について



公平で適正な入札で、豊かな地域社会の実現と労働者の適正な労働条件が確保されることが望まれます。

住民の声で議会の活性化を!!
議会を傍聴しませんか!



定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。

◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。

◇問い合わせは議会事務局（01654-3-2111）へお申し出ください。

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は4月18日と5月17日に開催しました。4月は「名寄市新エネルギー・省エネルギー」に関わる旧風連中学校跡地の利用について」と(仮称)市民ホールの進捗状況と実施計画内容について」5月は各所管部署の重点事業計画を説明していただきました。最初に総務部企画課より地域おこし協力隊他2件について行革・職員・研修担当から行財政改革の推進についてと他2件、防災・法制担当からスクラム支援子供受け入れ応援事業について説明を受け、続いて教育部から学校教育課をはじめ10項目にわたり詳細な説明を受けました。最後に名寄大学から学生の入学状況他7項目について詳細な説明を受け、審議しました。



旧風連中学校跡地

市民福祉常任委員会

委員会は4月10日、4月17日、5月20日に開催しました。主に平成25年度第1回定例会で付託された議案第1号名寄市暴力団排除条例の制定についての審査を行いました。

暴力団排除条例の目的は、暴力団対策法をはじめ、他の関連する法律の網の目から漏れた部分を条例で規制し、市民が安全で安心な生活を送れるように、行政及び地域が協働して暴力団を排除することを目的として提案されました。議論の結果、全会一致で原案通り可決すべきものと決定いたしました。その他、健康福祉部からは今年度の主な関連事業等、市民部からは平成24年度税収見込み等、市立病院からは、平成24年度成算見込み等の報告がありました。



付託議案を審議する委員

経済建設常任委員会

委員会は4月30日より5月23日の間で5回開催、経済部・建設水道部所管の6月定例議会補正予算・25年度主要事業施策の概要と住宅マスタープランの説明、報告及び5月13日開催の臨時会付託議案「第1号一般会計補正予算第1号(「よろーな」管理運営事業費)」付託議案「第2号名寄市公設地方卸売市場特別会計補正予算第1号(アスベスト処理費用等)」について、熱心な質疑討論・審査を行いました。

臨時会付託議案は23日までの短い期間ではありませんでしたが結果、付託議案第1号は、全会一致にいたらず、採決の結果、賛成多数で原案通り、付託議案第2号は全会一致で可決すべきものと決しました。



早期の改修が待たれる公設市場

議会運営委員会

議会運営にかかわる委員会を5月13日、同24日(2回)同28日、6月11日、同28日の6回、議員定数・報酬問題及び議会報告会の取り扱いにかかわる委員会を6月13日に開催しました。5月13日から3回にわたり開いた委員会では、第1回臨時会の運営について協議。黒井議長の裁定により、会議を5月13日から12日間とし、上程議案2件を経済建設常任委員会に期限付き(23日)付託をしました。また、臨時会最終日の委員長報告後、議案の一部修正動議が提出され、賛同者がいたため取り扱いを協議しました。

5月28日の委員会では、第2回定例会の運営について協議し、会期を5月31日から6月13日までの14日間、上程議案14件、報告9件、諮問1件を確認。一般質問には9人が登壇することを認めました。また、6月11日の委員会において黒井議長から議員定数及び報酬のあり方の諮問があり、取り扱いを協議しました。

議会各会派の政務調査報告

市政クラブ

平成24年度は道外視察を一回行った。7月23日から26日までの4日間の日程で、新潟県小千谷市、群馬県太田市・下仁田町、埼玉県所沢市、千葉県原市、東京都杉並区を訪問し、視察研修を行った。太田市では、紙資源ごみの集団回収の取り組みについて、

所沢市では空き家対策条例の制定について、当市においても課題とされている事柄についてそれぞれ説明を受けた。東京都では当市と交流のある杉並区を敬も兼ねて訪問した。また、東京女子大学図書館を視察し、大学図書館のあり方について見聞を深めた。今後の名寄市立大学図書館構



所沢市役所での研修を終えて

想に大いに参考になる内容であり、この視察で学んだことを大学図書館建設に活かせるよう取り組んで行きたい。

市民連合・凜風会

平成24年度は道外と道内の政務調査を各1回行い、市内4カ所で市政報告・意見交換会を行った。

岩手県花巻市、宮城県大崎市では独自の自治活動交付金を予算化した地域コミュニティづくりについて学び市政への反映の参考とした。



南相馬市の水没したままの田畑

福島県南相馬市では東日本大震災による被害状況と復興の状況を視察した。地震と大津波そして福島第一原発事故によっていまだに自宅に戻れない状況を目の当たりにしたが、取り戻しつつある街中の活気と訪問した小学校の子供たちの元気な姿に少しほっとすることができた。

新緑風会

新緑風会の平成24年度政務調査は、地方自治のありようを学ぶために松山市で開催された全国市議会議長会「研究会フォーラム・イン・松山」と札幌市で開催された「地方議員のための政策法務」をそれぞれ受講した。フォーラムでは元総務大臣の片山善博氏による基調講演等が行われた。片山氏は「教育委員会制度」の中で、現制度では教育長を首長が選任し、議会が選任同意している以上、教育問題の最終責任者は議会にある、と指摘。改めて委員の選任案件に対して委員の力量の是非を判断することの重要性を再認識する良い機会に恵まれた。「政策法務」の研修では、政策実現のために実効性をどう担保するか、改めて慎重な対応を痛感した。

市政報告・意見交換会には約80名の方にご参加いただき貴重なご意見をいただいた。



片山氏の講演に聞き入る

平成25年2月13日から15日までの3日間、都内においてセミナー等に参加し、コミュニティカフェを視察。

清風クラブ

2月13日の「GIS活用講座」では、地理情報システム(GIS)による情報の共有化による行政の見える化、説明責任のデータ、政策立案のデータとなる有効性を学んだ。

2月14日の東京港区のコミュニティカフェの視察では、新しいコミュニティの拠点づくりと地域と大学の連携を学んだ。



港区のコミュニティカフェ「芝の家」

2月15日の先進事例から学ぶ議会改革フォーラムでは、地域経営のルールである議会基本条例をしつかりと活かし、住民の合意形成による政策提言を推進することが重要であることとを学んだ。

議会各会派の政務調査報告

日本共産党

公明

2012年は東日本大震災から学ぶことを主に、視察を行いました。

10月23～26日にかけて、埼玉県蕨市では、給食食材の放射線量測定を取り組みについて、南相馬市、気仙沼市、陸奥高田市では被災状況を、岩手県盛岡市では災害時要援護者制度について視察研修を行い、一般質問に反映させました。被災地の様子は、小さな集まりも含めてあらゆる場で報告させていただきました。

また、7月30日には、土別市の子どもの権利条例制定に向けての取り組みを視察。子どもを真ん中にすえ、「ことも委員会」が発足した経緯は大いに学ぶべき点でした。子どものいじめ問題と合わせて、一般質問で取り上げました。



埼玉県蕨市立学校給食センター前で

10月10・11日に愛媛県松山市で全国市議会議長会研究フォーラムに参加しました。

基本講演として前総務大臣の片山善博氏が「地域自治の課題と議会のミッション」と題し、義務教育は自治体の最重要課題、地域主権改革と議会の役割、市民に開かれ、市民に信頼される議会等々の首長と議会が市民ニーズに答えているのかの講演が行われた。

パネルディスカッションでは「地方議会における政策形成の在り方について」「大震災における議会の役割」の課題討議で、議会活動の現実の姿と問題点、自治体の政治役割と議会の役割、二元代表制の問題点、議会をどう変え、議員がどう変わるべきかの議論が進んだ。



松山市ひめぎんホールにて

政務調査費とは

政務調査費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派（所属議員1人の場合も含む）に対して交付しています。【交付額は議員1人当たり、月額10,000円です。】

平成24年度各会派の政務調査費概要報告

(単位：円)

	市政クラブ	市民連合・凜風会	新緑風会	清風クラブ	日本共産党	公明	合計
政務調査費交付額	840,000	840,000	240,000	150,000	120,000	120,000	2,310,000
返還(未執行)		91,359		30,672		3,670	125,701
H24年度交付額	840,000	748,641	240,000	119,328	120,000	116,330	2,184,299
支出							
研究研修費			52,000	32,000		5,000	89,000
調査旅費	840,296	720,106	252,465	87,328	106,850	111,330	2,118,375
資料作成費							
資料購入費	9,600	7,000			19,740		36,340
広報費					3,730		3,730
広聴費							
その他経費		21,535					21,535
計	849,896	748,641	304,465	119,328	130,320	116,330	2,268,980

掲載していませんが、交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

議員協議会が開催される

住宅マスタープランを見直す

5月31日の本会議終了後に議員協議会が開催された。

名寄市土地開発公社、名寄振興公社、名寄市社会福祉事業団の経営状況の報告と質疑が行われた。平成24年度決算では、名寄市土地開発公社が当期純利益107万9358円を計上した。また、名寄振興公社は、順調に降雪が推移したものの、繁忙期の年末年始、週末及び祝日がたびたび吹雪と強風に見舞われ、前年比93・93%の大幅減に加え、各施設の利用客の減少と燃料費・食糧費の高騰で収支不足となった。また、市の施設利用料を2年連続減額したものの、当期純損失1406万452円を計上することとなった。議員からは、施設の改修計画や管理運営、利用客増を図る施策等についての質問や提言が行われた。

社会福祉事業団では、8万4544円を次年度に繰り入

れし、近年多様化する福祉サービスの業務推進を利用者の意向に基づき図って行くこととした。

また、名寄市住宅マスタープランは、平成19年に策定され、平成22年には「公営住宅等長寿命化計画」を策定。5年

が経過し、今後の社会経済情勢の変化や市民ニーズの多様化などに対応するため必要に応じ、中間見直しを行った。公営住宅を中心とした計画に、民間住宅を含め、福祉・まちづくり・環境の連携も考慮された。



臨時会

平成25年第1回臨時会が、5月13日に開催されました。会期を24日までの12日間とし、平成25年度一般会計補正予算、名寄市市税条例の一部改正、名寄市都市計画税条例の一部改正、名寄市国民健康保険条例の一部改正など6件について審議され承認しました。

固定資産評価員

名寄市固定資産評価員の選任に同意しました。

中村 勝巳氏（新任）

名寄市東4条南4丁目10-1

宗片浩子議員を偲ぶ



委員長

平成11年4月、旧名寄市市議会議員に初当選以来、4

期14年にわたり議員活動にご尽力されてきました。数年前から体調を崩され加療中のところ、5月25日、多くの市民の願いも届かず永久の眠りにつかれました。

民生常任委員長、予算審査特別委員長などを務め、平成23年からは議員会の会長として、豊かな経験のもと、積極的な議会活動と議会のまとめ役として、全議員から信頼を得ておりました。女性の地位向上を唱え、男女共同参画社会の構築に向けた活動や高齢者対策など身近な問題を提起、実践していただいていたことに深く感謝申し上げます。謹んで哀悼の意を表します。



議会報告会を開催します

名寄市議会の1年間の活動を報告するとともに、市民の皆さんの議会に対するご意見を伺いたいと思います。お近くの会場にぜひお集まりください。

月 日	場 所	時 間
7月30日 (火)	智恵文多目的研修センター	午後7時00分～
	名寄市民文化センター	午後6時30分～
	名寄東小学校・多目的ホール	午後6時30分～
	東12区町内会館(東1北3)	午後6時30分～
7月31日 (水)	駅前交流プラザ「よろーな」	午後6時30分～
	ふうれん地域交流センター	午後6時30分～
	17区福社会館(西5北2) 第1老人クラブ(西6南8)	午後6時30分～



議会スナップ

議員会

チャレンジデーに参加

今年も5月29日に開催されたチャレンジデー市民綱引き大会に議員会も参加しました。一致団結して力を振り絞っていい汗をかきました。

来年もガンバッテ全員参加を目指し、健康のため運動をしましょう!!

・・・継続は力なり・・・



ガンバレ名寄市議会

議会日誌

- 3月4日 ・ 議会運営委員会
- 7日 ・ 市民福祉常任委員会
- 14日 ・ 経済建設常任委員会
- 19日 ・ 議会運営委員会
- 22日 ・ 議会運営委員会
- 26日 ・ 議会運営委員会
- 4月2日 ・ 議会報特別委員会
- 10日 ・ 市民福祉常任委員会
- 17日 ・ 市民福祉常任委員会
- 18日 ・ 総務文教常任委員会
- 19日 ・ 議員協議会
- 30日 ・ 経済建設常任委員会

- 5月10日 ・ 各会派代表者会議
- 12日 ・ 各会派代表者会議
- 13日 ・ 議会運営委員会
・ 経済建設常任委員会
- 15日 ・ 経済建設常任委員会
- 17日 ・ 総務文教常任委員会
- 20日 ・ 経済建設常任委員会
・ 市民福祉常任委員会
- 21日 ・ 千葉県銚子市議会行政視察
- 23日 ・ 経済建設常任委員会
- 24日 ・ 議会運営委員会
・ 各会派代表者会議
- 28日 ・ 議会運営委員会
・ 議会報特別委員会
- 31日 ・ 議員協議会

可決された意見書

道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

1. 道教委が2006年に策定した「新たな高校教育に関する指針」は、広大な北海道の実情にそぐわず、地域の教育や文化だけでなく、経済や産業など地域の衰退につながることから、抜本的な見直しを行うこと。
2. 「公立高校配置計画」については、子ども・保護者・地元住民など、道民の切実な意見に真摯に耳を傾け、一方的な策定は行わないこと。
3. 教育の機会均等と子どもの学習権を保障するため、「遠距離通学費等補助制度」の5年間の年限を撤廃するとともに、もともと高校が存在しない町村から高校へ通学する子どもたちも制度の対象とすること。
4. しょうがいのある・なしにかかわらず、希望するすべての子どもが地元の高校へ通うことのできる後期中等教育を保障するための検討をすすめること。

「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的施策の早期実施を求める意見書

1. 「基本方針」において「支援対象地域」を定めるにあたっては、少なくとも、年間放射線量1ミリシーベルトを超える地域が対象となるよう定めること。
2. 原発事故によってこれまでの生活を奪われ、被災生活を余儀なくされている方々の力となるよう、基本方針を一日でも早く定め、被災者の声を反映した実効性のある具体的な支援策を早期に実施すること。
3. 健康被害の未然防止の観点から、定期的な健康診断や、医療費の減免に関する規定の実施を早期に行うこと。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の早期制定を求める意見書

1. 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律案」の早期成立・施行を図り、雇用、教育、公共交通、医療、役務の提供など、あらゆる分野における障がい者の権利利益を侵害する社会的障壁の除去に努めるとともに、障がい者が社会参加するための環境整備を一層進めること。
2. 本法制定後、本法律に基づき、政府全体の方針として定める「障害者の差別の解消の推進に関する基本方針」並びに同方針に即して行政機関や地方公共団体が定める「職員のための要領」、及び各事業分野を所管する主務大臣が定める「事業者のための指針」については、障がい者や関係事業者の意見を最大限尊重し、十分に反映したものとすること。
3. 障がい者が差別により制限された権利を速やかに回復できるよう、既存の紛争解決機関等の活用の推進も含め、相談及び紛争防止・解決のための体制の整備・拡充を図ること。

(意見書文面は原文のとおり)

☆ き ほ う ☆



新事務所移転に当たって
名寄市東1条南7丁目 本田 望月

平成25年4月1日、旧事務所（西3南5）から新事務所（東1南7）に移転。4月6日には、経済アナリストの森永卓郎氏を講師に招き「よろーな」1階の大会議室で講演を行った。講演前には新会議所を解放し、見学に訪れたお客様方も見え、沢山のお祝いの言葉をいただいた。また、会議所が入っている「よろーな」では、会議室を借りることもでき、様々な会が会議室を利用し、朝から美しい歌声や迫力のある音色が響いている。更には名寄産業高校建築課による作品の展示も行われた。「よろーな」の利活用を機に今まで会議所を知らなかった方々にも会議所を知ってもらうきっかけとなれば嬉しい。今まで旧会議所では考えられなかった明るく活気溢れる雰囲気、私たちまで笑顔になり、仕事への意欲も湧いてくる。これからも町の人々の笑顔を励みに成長していきたいと思う。



食事は大切です
名寄市風連町緑町5-7 酒井 洋子

私たち食生活改善推進員を知らない方が多いようです。「私たちの健康は私たちの手で」のスローガンのもと、子どもから高齢者までの身体に少しでも良い食生活を考えています。

飽食時代の中で、体に何が大切なのか見えにくくなってきています。また、子どもも大人も朝食抜きが多くなっているようです。「早寝・早起き・朝ごはん」というように食事は大切です。食べ物が体をつくれます。

生活習慣病対策のための減塩やカロリーバランスを考えた調理実習、地元の食材を使った健康まつりの試食コーナー、新妊婦さんや乳幼児対象の野菜をたくさん使った調理実習など楽しく学び合っています。

みなさんも、ぜひご参加ください。

お詫びと訂正

議会だより第28号（平成25年5月1日発行）で、2Pに掲載しました教育委員会委員の中尾公一氏の名前が、事務局のミスから中尾広一氏と記載されました。謹んでお詫びを申し上げ、訂正させていただきます。

【誤】中尾 広一 【正】中尾 公一



ようみんな
知恵を出し合
うことが重要
ですね。
(おく)

暑い・暑い・暑い!!
あんなに雪解けが遅かったのに季節が一変し、日中は25度を超える夏日が続き、30度を超える日もありました。ただ最低気温は10度を下回る日もあり体調管理には苦労しましたね。でもこの寒暖の差があつた味いアスパラを生み出しているのです。杉並区役所で開催された「なよろアスパラまつり」でも大人気で、あつという間に売り切れたそうです。名寄でも「かみかわ」まるごと食べに「よろーな」フェスタinアスパラまつりが駅前で開催され、市内外から多くのお客様にお願いいただきました。「駅前プラザよろーな」の利活用と賑わい創造はこれからの大きな課題です。無駄な投資にならないようみんな

編集後記

